



学年目標
居心地の良いクラス・学年をつくる

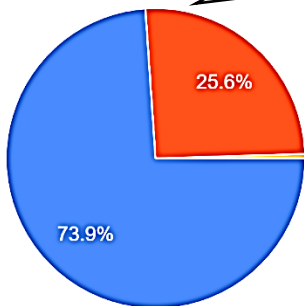
行事の後が大事

またもや東京都にまん延防止等重点措置が適用され、教育活動への制限が出て、部活動も原則中止となりました。私たちの学年は日程が早かったためにスキー教室は行けましたが、区内では現在スキー教室は延期となっていて、今後の見通しも立っていません。無事に行事ができた私たちは、尚更この経験をこれからの生活に生かしていかなくてははいけません。スキー移動教室のアンケートをみると、全体的には、しおりを見て行動し、仲間と協力し、自分の役割を果たすことができたようです。しかし、生活の中で課題も明らかになりました。まず、物の管理ができていないということです。レンタル用品の帽子、ゴーグルの落とし物が毎日ありました。さらに、自分の物がなくなりに気がつかず、実習前に慌てるということもありました。お風呂場での忘れ物、落とし物も山ほどありました。他にも、ルールを破ってしまったり、予定の把握ができていなかったり、ということもありました。こういった課題を今後の学校生活や三年生での修学旅行に活かせるよう、より一層気を引き締めて過ごしていきたいです。大きな行事が終わった後は、気が抜けがちですが、行事のあとの過ごし方がとても大切だと思っています。



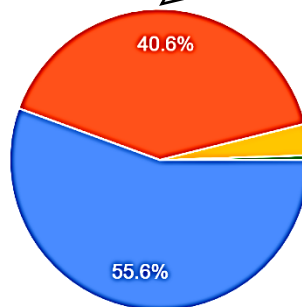
生徒の「スキー教室振り返りアンケート」を一部紹介します。

宿舎の班員と仲を深め、協力することができた。



● とても当てはまる
● 当てはまる
● どちらかという当てはまらない
● 当てはまらない

スキーの技能意外にも学ぶことがあった。



【答えの理由】

- 話したことの無い人もいたが、トランプなどをして仲を深めることができた。
- 初対面でも仲良くできた。
- 何か困ったことがあると互いに助け合えた。
- 次の予定を伝え合ったりできた。
- 今日で友達になったねと言ってくれた人もいたし、みんなでトランプをしてワイワイ盛り上がったから。

【答えの理由と学んだこと】

- 集団行動の大切さ。
- 自然の凄さ。東京では体験できない寒さを学ぶことができた。
- 相手のことを考える、相手にペースを合わせるなど普段の生活では体験できないことを学んだ。
- 時間の管理や生活の仕方について学ぶことができた。
- 挨拶。礼儀。気合い。やる気。メンタル!!
- 初めて挑戦することでも怖がらずに頑張る気持ちが重要だと知った。
- 生活する上での常識がたくさん身につきました。
- お互いに高め合うことの大切さ。
- 助け合いの精神。整理整頓。

来週の予定

※時間割表からの変更のみ載せています。

31 (月)	6時間授業 ②C体→技 ③B体→理 ④E家→社
1 (火)	6時間授業 ④E体→国 C数→家
2 (水)	4時間授業 ②E社→理 ③A家→理 E理→家
3 (木)	6時間授業
4 (金)	6時間授業 ②A体→数 F体→数 ③D体→美

スキー移動教室を振り返って+3学期の目標についての作文です。

スキー移動教室を振り返って
F組

僕はこのスキー移動教室を通して
たぐさんのことを感じ学ぶことがで
きました。今からそのことについて書
いていきたいと思っています。

まず一つ目に、インストラクターさ
んの教えることがとても上手なこと
です。実演やわかりやすい言葉で教え
てくれるので、意識しやすく、三日と
いう短い間でしたがスキーがうまく
なった気がします。僕もそのように相
手に分かりやすく物事を伝えられる
ようになりたいと思いました。

二つ目に、知らない人とのように
仲良くなるからです。このスキー教室で
は宿舎班と実習班でクラス別々に、だ
いたい半分くらいが話したことのない
人と一緒でした。しかし班員同士で
積極的にコミュニケーションを取り、
初日でほとんど打ち解けることがで
きました。三年生のクラス替えや、高
校に行った時も自分から話しかけて、
友達をつくれるように頑張りたいと
思います。

最後に、このスキー教室はコロナ渦
で石西中初めての宿泊行事でした。こ
の行事を行うために協力してくれた
人たちに感謝しています。このスキー
教室で学んだことをいかしていける
よう頑張りたいです。

My Work Experience ~英語のスピーチを通して~

Kitagawa Aoi

“I can't speak English.” “Sorry, I don't know.”もし、このフレーズを堂々と言えたら、その人は十分英語を話せていると思いませんか？私は、生徒のみなさんにこう言えるようになって欲しいです。“Speak slowly please so I can communicate with you!”

先日、英語の授業では職場体験についてのスピーチを行いました。発表練習は冬休みの宿題にしました。回収したスピーチ原稿をみると、保護者の方から丁寧なアドバイスが書かれていました。「引き込まれました。」「練習よくがんばりました！」「写真を使って、より伝わるスピーチになりました。」「本番もがんばろう！」などといった励ましのコメントや、「何を伝えたいかを考えて。」「強弱つけて、棒読みしない。」「まずは覚える！」「暗記しなさい。」「アクセントや文章の流れで抑揚をもっと強調。」「ジェスチャーにもう一工夫!」など、具体的なアドバイスもたくさんありました。ありがとうございました。

今回の発表は、お互いに刺激になればと思い、少人数クラスでなく単級で実施しました。人前に出て話すということはとても緊張することです。ましてや、英語のスピーチは更にハードルが高いかもしれません。しかし、生徒のみなさんは、相手にどう伝えるかを良く考え、ジェスチャーや写真、イラストなどを活用しながら堂々と発表をしてくれました。私がスピーチや発表の際にいつも重視していることは、「伝えること」の大切さです。ペラペラと英語を話せば良いスピーチという訳ではありません。たとえ、Greatな原稿ができて発音が上手でも、スピーチの声が小さければ、その素晴らしい発音も内容も相手には届きません。

今回ほとんどの生徒が全文を暗記していましたが、いざ本番となると緊張し覚えたことがなかなかでてこないという状況が多くありました。しかし、今回の評価項目に「暗記」は入っていません。原稿と違うことを発表する生徒もいました。No problemです。大切なのは、聞いている人に届くスピーチをすること。アドリブで文章を足したり、聞いている人に質問を試みたり、その場の雰囲気や聞く人の反応をみながら対応できたなら Wonderful!!

子どもたちの振り返りをいくつか紹介します。

- 他の人を見て、上手な人は堂々としていてとても聞いている方も楽しかったので、私も聞いている人が楽しめるように工夫をしたいと思います。
- 友達のアドバイスに「動きをつける」や「もう少し声を大きくする」と書いたが、自分もできなかったので、気を付ける。
- とても楽しかった！
- 自分の中で今回のスピーチは今までで1番良かったです。
- ジェスチャーをしながら話したりできている人がいたから、自分も話上手な人になれるようもっと頑張りたいと思った。
- 緊張して、頭が真っ白になってしまった。
- 他の方のスピーチを見ていると、自分のスピーチの時あれをやれば良かったなど吸収できることが多かった。

今後も英語の授業では、自分の知識を活用しながら「話す」ということに取り組んでいきます。どのようにすれば相手に言いたいことが伝わるのか、英語だけでは日常生活の何気ない会話などでも考えてほしいと思います。

